

PORT INC.

2025年3月期通期業績予想の修正に関する 補足説明資料

ポート株式会社 証券コード：7047

2024.11.13

2025年3月期 業績予想の上方修正 (非継続事業組替え後)

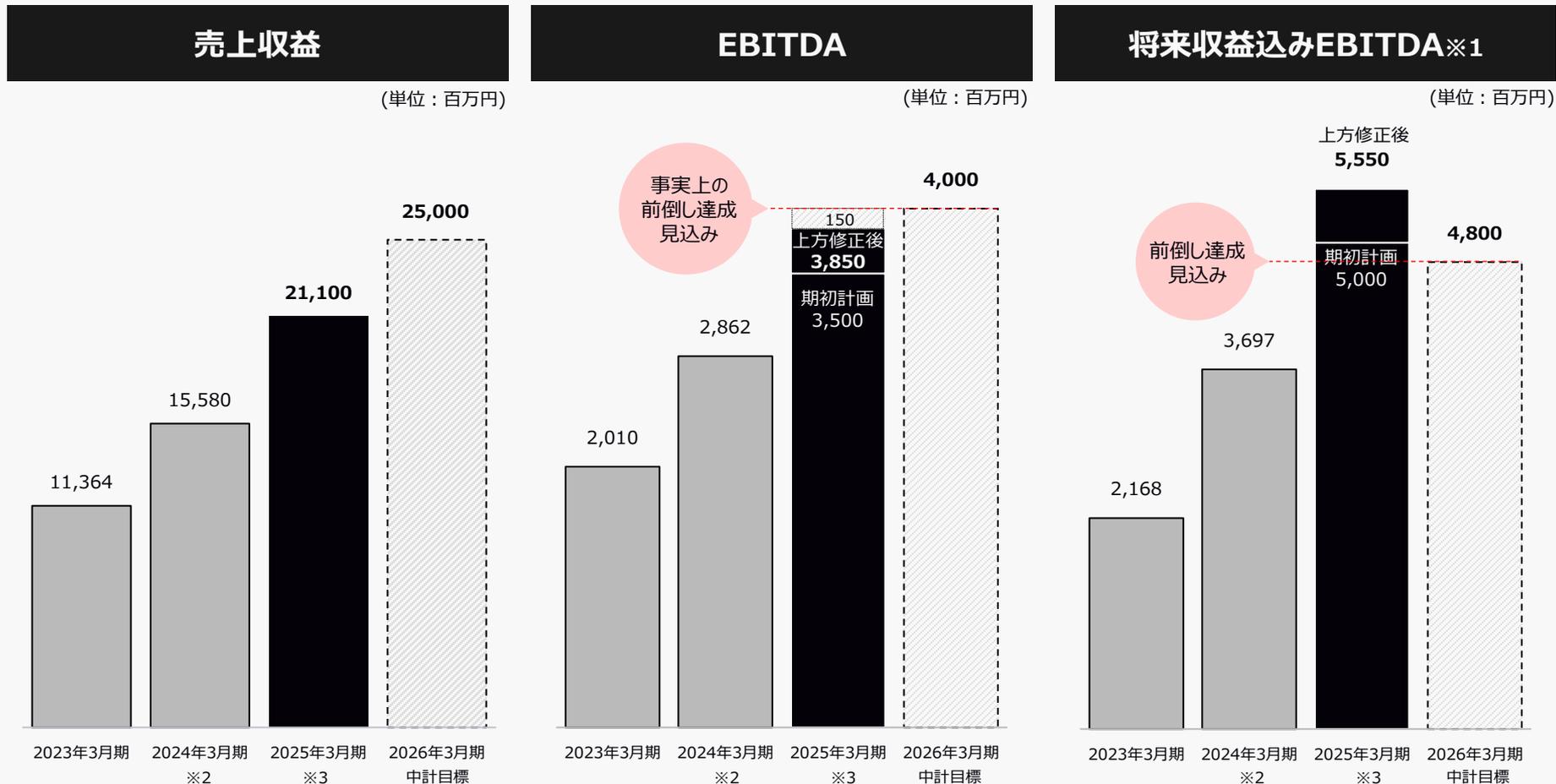
今期の事業譲渡等のコーポレートアクションによる業績影響を加味した期初計画に対し、上期での想定以上の業績進捗に加え、下期においても良好な見通しであることから、通期業績予想（各利益）を上方修正。

| 会計基準：IFRS (単位：百万円) | 2025年3月期 通期業績予想 | | | (参考) 2024年3月期 通期実績 |
|-----------------------|-----------------|---------------|-------------|--------------------------|
| | 5月13日公表 期初計画 | 11/13公表 修正後 | | |
| | | 計画 | 前年度対比 | |
| 売上収益 | 21,100 | 21,100 | +35% | 15,580 |
| EBITDA | 3,500 | 3,850 | +45% | 2,650 |
| 将来収益 | 1,500 | 1,700 | +62% | 1,047 |
| 将来収益込みEBITDA | 5,000 | 5,550 | +50% | 3,697 |
| 営業利益 | 2,900 | 3,150 | +42% | 2,217 |
| 税引前当期利益 | 2,830 | 3,080 | +44% | 2,146 |
| 当期利益 (非継続事業を含む) | 1,850 | 1,965 | +28% | 1,530 |
| 親会社の所有者に 帰属する当期利益 | 1,850 | 1,965 | +35% | 1,456 |

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 固定資産除去損及び評価損益 + 株式報酬費用
 ※ 2024年3月期以降の実績は、株式会社ドアーズの株式売却に伴い、業績を非継続事業への組替え後。
 ※ 将来収益・・・1成約によって将来生まれる総収益。本来当期に計上されていたものを将来にわたって計上していくものであることから、当社の実力値は「将来収益込みEBITDA」によって測るべきものとする。
 ※ 2025年3月期におけるコーポレートアクションは、みん就株式会社の連結・NVA（ネットビジョンアカデミー）事業の譲渡・株式会社ドアーズの売却が該当。

中計に対する進捗

期初時点では想定していなかった株主優待費用（約1.5億円/年）を除外すると、中計最終年度で掲げるEBITDA40億円を今期で事実上の前倒し達成見込み。来期を初年度とする新たな中計を策定予定。



※1 将来収益込みEBITDA=EBITDA+ストック収益をショット収益として獲得した場合に本来当期に計上可能な収益の換算値。

※2 2024年3月期以降の実績は、株式会社ドアーズの株式売却に伴い、業績を非継続事業への組替え後。

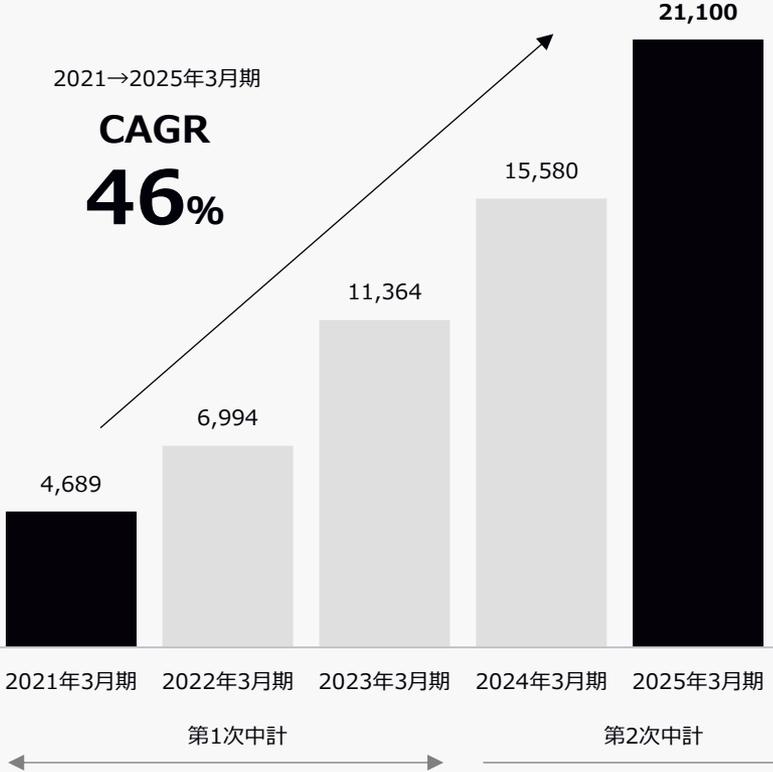
※3 2025年3月期業績計画は、2024年5月12日に期初予想を公表、2024年11月13日に修正予想を公表。詳細は「2025年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載。

高い業績成長推移

第1次中計に続き、第2次においても、オーガニック・インオーガニックの成長、人材、エネルギー領域の注力事業への選択と集中により、高い業績成長率を維持。ストック収益の拡大により利益成長の蓋然性も向上。

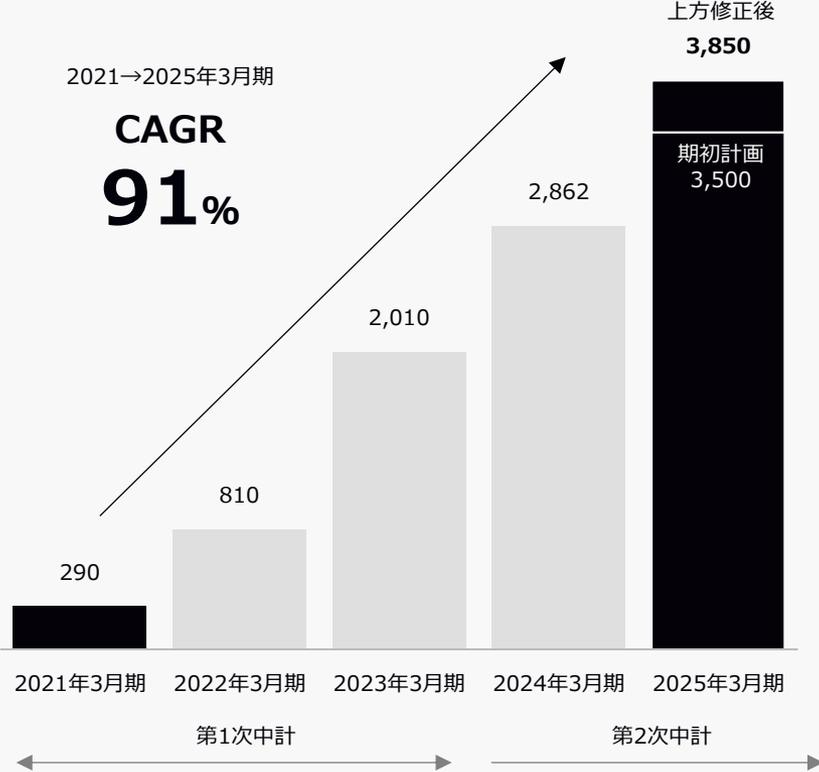
売上収益

単位：(百万円)



EBITDA

単位：(百万円)



※ 2024年3月期以降の実績は、株式会社ドアーズの株式売却に伴い、業績を非継続事業への組替え後。
※ 2025年3月期業績計画は、2024年5月12日に期初予想を公表、2024年11月13日に修正予想を公表。詳細は「2025年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載。

2025年3月期 下期（3Q・4Q）見通し

両事業ともに4Qが最需要期。CAGR30%以上の成長を継続見込み。

季節性トレンドと事業状況から、今期も4Qが最需要期になる見込み。両事業のオーガニックでの成長に加え、ストック収益の拡大も寄与。

人材領域

就職活動の早期化影響を受け、4Qの最需要期が拡大見通し。

- 9月末時点のキャリアアドバイザー数は100名を超え（YoY約+40%）、今年度配属メンバー（約30名）の業績貢献を見込む。
- 就職活動の早期化により大学3年生の1-3月期（4Q）が人材紹介でも需要期になることが想定されるため、大学4年生ではなく3年生との面談を3Qで積極的に実施し、今期の成約件数の最大化に向けた仕込みを開始。
- 企業の新卒採用意欲は今後も底堅く推移する見通し、良好な市場環境を背景に当社サービスへの需要も継続的に拡大。

エネルギー領域

成約単価の上昇に応じた積極的なマーケティング投資で、QoQ増収増益を継続見込み。

- 電力事業者の新規顧客獲得需要の増加や市場における当社プレゼンスの向上等により、需要期である4Qに向け、成約単価は更に上昇見込み。
- 来期に向けた将来収益の獲得を最大化。前期大幅に積み上げた将来収益によりストック収益は堅調に拡大。
- インオーガニック成長戦略に資本業務提携形式も活用し、積極的なロールアップを実現。来期成長への仕込みを遂行。

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。
- これらは現在における見込み、予想及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

PORT INC.

社会的負債を、次世代の可能性に。